

# 鹿山會

千葉県立佐倉高等学校同窓会  
 鹿山会事務局（佐倉高校内）  
 〒285-0033 千葉県佐倉市鍋山町18  
 電話/043-484-1021 Fax/043-486-0903  
 URL <http://rokuzan.gozaru.jp/>  
 平成18年7月22日（土） 第2号

## 実りある 鹿山会活動をめざして

会長 鈴木 博



酷暑の候、鹿山会会員皆様によ  
 りご健勝にて益々ご活躍の事とお慶び  
 申し上げます。日頃より、鹿山会活  
 動に対しご理解ご支援を賜り心よ  
 り御礼を申し上げます。

平成十八年度の佐倉高校鹿山会総会  
 は、昨年に引き続き母校を離れホテ  
 ルでの開催と致しました。

会員相互の親睦と融和、そして母校  
 の発展に寄与する事とした会の趣  
 旨の他に、事業目標として掲げた  
 「鹿山文庫の修理保存と広報活動  
 事業」そして、昨年の七月に国の登  
 録有形文化財に認定された「佐倉高  
 校記念館」の基礎部の腐食が進むな  
 が、修理保存を必要とする県の教育  
 施設に対して、鹿山会が、如何様に  
 取り組んで行くかを、千葉県教育関  
 係者や多くの皆様のご意見を頂戴  
 し今後の進め方を皆様と共に、考え  
 てまいりたいと存じます。次代を背  
 負う佐倉高在校生は、学力は勿論の  
 事、クラブ活動にも積極的に参加し  
 極めて優秀な生徒達と聞いており、  
 更なるご活躍と新たな鹿山会会員  
 としての助走を期待する所であり  
 ます。

旧制佐倉中学校時代に柔道を始め  
 られ、昭和十八年に卒業された大澤  
 慶己さんが国技柔道の講道館十段  
 に昇段のお話を鹿山会柔道関係  
 者より伺いし、この度の総会懇親  
 会は、十段昇段のお祝い会とさせて  
 戴きました。現役当時は「昭和の牛  
 若丸」と呼ばれ、今尚、日本の女子  
 柔道の強化委員長としてご活躍さ  
 れている事は、鹿山会にとっても喜  
 びであり、この快挙を皆様と共に  
 お祝いさせて頂きたい存じます。春先  
 より準備を進めて参りました総会  
 並びに祝賀懇親会は、沢山の会員皆  
 様の「ご参加を頂き、盛大に行われ  
 る運びとなりました。鹿山会会員皆様  
 はじめ、幹事長、事務局、役員のご  
 尽力に対し心より感謝を申し上げます。  
 鹿山会が、これからも有意義  
 であり、実りある鹿山会である様  
 皆様の引き続きのご支援をお願い  
 し、「」挨拶とさせて頂き戴きます。

### 「登録証伝達式」

校長 須田 繁

会報「鹿山會」第2号が発行される  
 ことになり、大変嬉しく思います。  
 鈴木会長を中心に同窓会組織が一  
 段と活性化することは、現役生徒に  
 とっても大きな心の支えとなりま  
 す。創刊号でも話題になりました本  
 校木造校舎「記念館」は、平成十七  
 年七月十一日付けで、正式に国の登  
 録有形文化財登録原簿に登録され  
 ました。登録証と登録プレートが県  
 教育委員会を通して本校に交付さ  
 れることになり、本校の創立記念日

でもある十一月十日に記念館前  
 「伝達式」を挙行いたしました。



当日は、堀田家当主正典様や渡實博  
 孝佐倉市長をはじめ多くのご来賓  
 ご臨席の下、県教育庁文化財課長が  
 「登録証の伝達がなされました。続  
 いて、吹奏楽部員によるファンファ  
 ーレの中、卒業生代表・鈴木博鹿山  
 会会長と現役生徒代表・倉金万里子  
 生徒会長の二人により、記念館前に  
 設置した登録プレートの除幕を行  
 いました。また、記念植樹として、  
 細谷幸平PTA会長、高宮良一佐倉  
 市教育長及び青柳正吾元校長の三  
 人により里桜の苗木が記念館前に  
 植えられました。伝達式の後、体育  
 館で全校生徒に登録証を披露する  
 と共に、他校とはいささか趣を異に  
 する本校の歴史の「コマ」：本校が  
 廃校の危機に瀕した際堀田家をは  
 じめ多くの地元の人々が本校を支  
 援してくれたお陰で今日があるこ  
 とを、紹介し、佐倉高校は地域に支

えられて今日があること、また、  
 我々佐倉高校に学ぶ者は地域に対  
 し何が出来るかを考えるべきであ  
 ることを生徒、教職員ともども再確  
 認したところであります。今回の



「登録有形文化財」登録は、本校の  
 歴史や伝統及び先人たちのご苦労  
 に思いを馳せる良い機会でありま  
 した。このことは、生徒から寄せら  
 れた「みんなの記念館」や「記念館  
 と歴史」などの感想文にもよく表れ  
 ております。今後とも、佐倉高生と  
 卒業生の心の拠り所としてこの「記  
 念館」を大切にしていきたいと考え  
 ております。卒業生の皆様、どつぞ  
 時には母校をお訪ねいただき、記念  
 プレートをご覧いただきながら往  
 事を憶んでいただけばと思います。

### 【寄付金の報告】

記念館保存関連基金とし

校友三八会 吉橋 勉様

六万六千六百十六円

桜城四四会 黒田 良夫様

七万円

岡本 鉄夫様

五万円

「鍋山祭」  
 今年の鍋山祭は7月1日(土)が校内発表、7月2日(日)が一般公開という日程で行われました。今年の統一テーマは「パッション佐倉」というものでした。初日の午前に体育館で行われるオープニングは若者の熱気に包まれた独特の雰囲気になります。「桜城健児」の気質いまだ健在と感じられる応援団の工員に始まり、1、3年の音楽選択者による全体合唱は、しばし日常を忘れた別世界へといざないます。このあと、有志による発表、放送委員会の力作である各参加団体のCM放映と続き、各参加団体ごとの発表となります。



今年の発表も飲食店、縁日、お化け屋敷、各文化部の日頃の活

動成果の発表と多岐にわたりましたが、特に目を引いたのが、暑い中、演劇会場の前にできる長蛇の列です。今年は一時間に及ぶ出し物もあり、年齢層を問わず好感を得たようです。この演劇発表が多いのも、鍋山祭の大きな特徴といえましょう。



また、昨年に引き続き、地域交流棟では母校活動支援のためのPTAバザーが開かれ、多くの来場者で賑わいました。この

バザーも鍋山祭来場者の楽しみの一つです。こうして、多くの来場者を迎え、盛況のうちに終わることができました。友人同士のきづなが深まり、互いの個性・能力を認識する場を得て、生徒一人ひとりの表情は、充実感に満ちています。感動の2日間、生徒にとつて非常に大きな財産となったようです。



「部活動」  
 ベスト16  
 第11回関東公立高等学校ソフトボール大会出場

【ラグビー部】  
 全国大会千葉県予選第三位  
 2回戦 佐倉33-12 洪幕  
 準々決勝 佐倉26-12 東葛飾  
 準決勝 佐倉0-64 流経大  
 新人戦 第三位  
 2回戦 佐倉53-12 市船  
 準々決勝 佐倉10-7 芝浦工  
 準決勝 佐倉14-43 流経大  
 ラグビー 関東大会  
 ラグビー 関東対抗戦千葉県代表 5名選出される。

【男子バレーボール部】  
 千葉県新人バレーボール大会  
 一回戦 佐倉2-0 成国  
 二回戦 佐倉0-2 小金  
 【陸上競技部】  
 県高校新人陸上競技大会  
 800m 2位 加藤 周(2年)  
 2006さかえまち利根リ  
 パーサイドマラソン  
 女子5km優勝 庄司 直子  
 (2年)

【野球部】  
 秋季千葉県高等学校野球大会  
 ベスト32  
 【テニス部】  
 高等学校総合体育大会団体戦県大会出場

【ソフトボール部】  
 平成17年度総合体育大会  
 ベスト8  
 平成17年度県新人戦

【卓球部】  
 県新人大会  
 男女団体出場

【レスリング部】  
 第51回関東高等学校レスリング大会  
 55kg級 小川 翔太(2年)  
 50kg級 平田 康二(2年)  
 第32回関東高等学校選抜レスリング大会  
 フリースタイル  
 55kg級 小川 翔太(2年)  
 国民体育大会県予選会  
 55kg級 加藤雄大(2年)  
 県新人戦  
 55kg級 小川 翔太(2年)  
 (関東選抜大会出場権獲得)

【力ヌー部】  
 平成17年度全国高等学校選権大会  
 男子準優勝

【剣道部】  
 平成17年度県新人戦  
 女子 佐倉0-3 学館浦安  
 平成18年度関東大会千葉県団体戦予選  
 男子 佐倉1-1 館山  
 女子 佐倉3-0 銚子西  
 佐倉0-3 長狭

個人戦  
 小笠原 麻華 一回戦  
 木口 伊津海 二回戦  
 平成18年度高校総体  
 千葉県団体戦予選  
 男子 佐倉0-5 千経大付  
 女子 佐倉1-3 成田

個人戦  
 小笠原 麻華 一回戦  
 木口 伊津海 二回戦  
 平成18年度高校総体  
 千葉県団体戦予選  
 男子 佐倉0-5 千経大付  
 女子 佐倉1-3 成田

個人戦  
 小笠原 麻華 一回戦  
 木口 伊津海 二回戦  
 平成18年度高校総体  
 千葉県団体戦予選  
 男子 佐倉0-5 千経大付  
 女子 佐倉1-3 成田

個人戦  
 小笠原 麻華 一回戦  
 木口 伊津海 二回戦  
 平成18年度高校総体  
 千葉県団体戦予選  
 男子 佐倉0-5 千経大付  
 女子 佐倉1-3 成田

個人戦  
 小笠原 麻華 一回戦  
 木口 伊津海 二回戦  
 平成18年度高校総体  
 千葉県団体戦予選  
 男子 佐倉0-5 千経大付  
 女子 佐倉1-3 成田

個人戦  
 小笠原 麻華 一回戦  
 木口 伊津海 二回戦  
 平成18年度高校総体  
 千葉県団体戦予選  
 男子 佐倉0-5 千経大付  
 女子 佐倉1-3 成田

個人戦  
 小笠原 麻華 一回戦  
 木口 伊津海 二回戦  
 平成18年度高校総体  
 千葉県団体戦予選  
 男子 佐倉0-5 千経大付  
 女子 佐倉1-3 成田

個人戦  
 小笠原 麻華 一回戦  
 木口 伊津海 二回戦  
 平成18年度高校総体  
 千葉県団体戦予選  
 男子 佐倉0-5 千経大付  
 女子 佐倉1-3 成田

個人戦  
 小笠原 麻華 一回戦  
 木口 伊津海 二回戦  
 平成18年度高校総体  
 千葉県団体戦予選  
 男子 佐倉0-5 千経大付  
 女子 佐倉1-3 成田

個人戦  
 小笠原 麻華 一回戦  
 木口 伊津海 二回戦  
 平成18年度高校総体  
 千葉県団体戦予選  
 男子 佐倉0-5 千経大付  
 女子 佐倉1-3 成田

個人戦  
 小笠原 麻華 一回戦  
 木口 伊津海 二回戦  
 平成18年度高校総体  
 千葉県団体戦予選  
 男子 佐倉0-5 千経大付  
 女子 佐倉1-3 成田

女子シングルス

藤元 優 ベスト32

【弓道部】

平成17年度県高等学校弓道選手権大会

女子団体 3位

女子個人

優勝 佐々木 瞳

【水泳部】

関東高等学校水泳競技大会

長島 正史(2年)

森下 雅之(2年)

廣島 昇三(2年)

廣島 昇三(2年)

【書道部】

第54回千葉県小中高校席書大会

書星会長賞 錦戸 恭兵

第58回千葉県小中高校

書き初め席書大会

千葉県日报社賞(2名)

平田 智仁

石川 理奈

【美術部】

第51回全日本学生美術展

推奨 佐藤かりん

佳作 田中 美幸

国立科学博物館主催

第22回植物画コンクール

佳作 福田 繭

【放送部】

第29回全国高等学校総合

文化祭

【英語科】

平成17年度千葉県高等学校

英語コンテスト県大会

一年・レシテーションの部

第一位 相馬 理人

平成17年度千葉県高等学校

英語コンテスト印旛地区大会

一年・レシテーションの部  
第一位 相馬 理人  
全学年・スピーチの部  
第一位 蛭間亜里沙

「鹿山会歓送迎会」

年度末の人事異動により、非常に細やかな気配りで定評の四之宮学教頭先生が大網白里町立大網中学校へ、母校OBでラグビー部の熱血指導者として活躍された数学科の古田学先生が千葉県立千葉東高校へ、「鹿山文庫の会」委員として、会の運営の中心的な役割を果たしてこられた国語科の外山信司先生が千葉県立浦安南高校へ、それぞれ転出されることになりました。三人の先生方は母校発展のために多大なご尽力をなされ、大きな功績があっただけに残念な感じがります。また、新たに印旛町立小林中学校から小林茂先生をお迎えしました。



以上転出される先生の送別と、転入される先生の歓迎の意を込め、五月二十九日に玉屋で歓送迎会が開かれました。

会の前半には、恒例となった花束贈呈があり、鮮やかな花束を受け取った三人の転出者の表情からは、職責を全うした充実感と、去りがたい惜別の情の両面が伺えました。続いて小林新教頭の挨拶があり、実子が佐倉高校の卒業生であることがユーモアを交えて披露されました。会は終始なごやかな雰囲気であり、佐倉高校在職当時の思い出話や、新しい職場の話に花が咲きました。鹿山会役員、校内幹事との親睦も深まり、母校の更なる発展と参加者各位の健勝を祈念して無事閉会の運びとなりました。

「鹿山会連絡協議会(仮称)準備会を開催」

五月二十日(土)一〇時三〇分より佐倉商工会議所二階会議室にて、本校鹿山会役員と地域鹿山会・職域鹿山会・クラブOB鹿山会運営責任者の皆様との連絡会を開催させていただきました。今後の鹿山会運営の方向性についての意見交換を行いました。

「現在活発に活動を展開する各組織の協力のもとに、本校鹿山会の運営体制・組織を強化して、活動を進めたい」旨の鈴木博会長との挨拶の後、須田繁校長より、母校の現状報告と日頃からの母校に対する支援活動について感

謝の意が述べられました。その後、各組織の運営実態が報告され、鹿山会組織が夫々の地域で、職場で活発に活動されている状況を共通認識すると共に、組織運営のあり方についても情報交換をすることができました。

議題としては、年会費制度の導入に伴う会員への告知費用として寄付金の募金活動を七月に開催される総会以降に行いとの案件につき色々意見が出されましたが、それぞれの組織と協力して推進することとなりました。また、六月二十五日(日)開催の第五十六回常任委員会の開催及び七月二十二日(土)の総会後の懇親会を大先輩である大澤慶己氏の講道館十段昇段お祝い会として開催するので、ぜひ多くの参加をいただきたい旨のご案内がありました。



佐倉高の現状説明する須田校長

今回初めての試みではありましたが、種々の意見交換もでき

ることから、連絡協議会として、定例的に開催要望の意見もあり、今後時期をみて開催することになりました。

「鹿山会常任委員会開催」



母校地域交流棟一階研修室において、六月二十五日午後二時から第五十六回鹿山会常任委員会が開催されました。

開会のおと木皿木元副会長挨拶があり、須田繁校長より母校の近況報告を交えた挨拶がありました。議事は、平成十七年度事業報告、収支決算報告、平成十八年度事業計画(案)、予算(案)について討議され承認されました。

各議事ごとに、多くの質問や熱心な意見が出され長時間に及びましたが、木皿木議長の進行により、無事終了しました。会場は終始、母校愛から生まれるこちよよい緊張感に包まれていました。



師岡講師の特別講演

東京鹿山会は、東京付近に住む卒業生の集まりの場として  
 発足したようですが、佐倉中・高校卒業生であれば誰でも何  
 処からでも参加できます。これからも、会員皆様のご協力と  
 ご理解を得て、先輩と後輩との交流の機会を増やすべく魅力  
 ある企画を立案し、東京鹿山会の歴史と伝統を守って行きた  
 いと思います。会員ご希望の方は、ぜひ事務局までご連絡を  
 お待ちしております。  
 鹿山会の益々の隆盛と会員の皆様のご健勝をお祈り申し上げ  
 ます。

組織名	八街鹿山会		
組織役員	会 長	目良 正雄	S17 卒
	副会長	緑川潤太朗	S26 卒
	幹 事	大野 明	S28 卒
	幹 事	粕谷 義行	S29 卒
	幹 事	川崎 只雄	S33 卒
	幹 事	山本 悦丸	S34 卒
	幹 事	伊藤 高明	S41 卒
事務局 連絡先	目良 正雄	S17 卒	
	Tel043 (443) 0333		

【ニュース】【結成の経緯】伝統と歴史の母校では、藩校創立  
 200 年記念事業が終え、県立移管 100 周年を迎えようとしてい  
 た平成 8 年のこと、鹿山会役員であった伊藤及也氏（中学第  
 38 回卒）が「会則に地域毎に支部を置く」とあるが、支部が  
 少ない（当時東京鹿山会のみ）ので、八街地域に支部を設置  
 しようと、発起人代表と地元年配同窓代表達で設立準備会を  
 を開き了承、高校卒の学年毎代表者協議会で具体的方針を決  
 め会員全員に通知して、同年 7 月結成総会を開いた。

【結成総会】総会には会員数 650 名の内参加者 102 名とな  
 った。会議では「会則の制定」は鹿山会会則に準じた条項から  
 なっている。特に「総会は毎年開く」「年会費は徴収せず、  
 行事を行う毎に参加者の負担とする」として決議されて役員  
 を選任した。続いて、懇親会に入り、鹿山会会長、校長から  
 母校記念事業の状況、学校の近況報告があつて、会員は母校  
 を想いながら久闊の情を深め、全員で校歌を合唱して盛会裏  
 に終了した。【当会の運営状況】会の行事「総会」は以後毎年  
 開かれた。しかし、開催に当たって会員への通知を全員に郵  
 送していたが、参加者が年々減少し、半減して来た。そこで

組織名	東京鹿山会		
組織役員	会 長	佐藤 誠一	S19 卒
	副会長	斉藤 定雄	S30 卒
	副会長	石井 才智	S32 卒
	副会長	高橋 行雄	S41 卒
	副会長	廣田 稔	S49 卒
事務局 連絡先	ツベ産業株内 鈴木嘉郎 (suzuki@tsube.co.jp) 〒130-0012 墨田区太平 1-2-12 Tel03 (3624) 3570 Fax03-3624-8152 鈴木 嘉郎 S31 卒 043-242-1008 古川 晴雄 S42 卒 03-5982-6202 (furukawa@kohw.or.jp)		

【ニュース】

県立移管 100 周年記念の校史の「佐倉高校ゆかりの人々」の項  
 に、故高田元三郎氏（元毎日新聞社 代表取締役 明治 44 年佐  
 倉中学卒業）の功績に関連し、「昭和 45 年第 1 号佐倉市名誉市  
 民となり、47 年には勲一等瑞宝章を受賞し、東京鹿山会副会長  
 として、東京付近に住む佐倉高校出身者の結束を図る」との記述  
 があります。高田氏は、その後会長になられ、高橋喜久前会長、  
 佐藤誠一現会長を可愛がってくださったのだと思います。  
 このように東京鹿山会は、先輩と後輩との交流の場として長い歴  
 史と伝統を持っております。



佐藤 誠一会長

東京鹿山会では、毎年 1 回 4 月ころ懇親会を開催しています。  
 4 年前からは約 1 時間の講演会も合わせて行い、参加者は約 70  
 名程です。

また、会員からの寄稿を中心とした会報を年 1 回発行していま  
 すが、会員の皆様のご協力により回を重ね今回で第 7 号となりま  
 した。さらに、年 1 回の懇親ゴルフ（参加者 25 名程度）も開催  
 するほか、幹事会や総会準備会を開き、意見交換の場をつくって  
 おります。

現在、東京鹿山会の会員は約 300 名を数えます。年会費の 2  
 000 円は、通信費、会報代等で一杯であり、どうか赤字がで  
 ないと言うところです。会報を送りますと、懇親会に出席しな  
 かった会員の方から三々五々 2000 円が振り込まれてきます。大  
 変ありがたいことで、この機会をお借りして御礼申し上げます。

本年度の東京鹿山会の会報(7 月発行)に「東京鹿山会の変遷」  
 (石井才智東京鹿山会副会長)が寄せられておりますが、伝統あ  
 る会を継続することは大変です。若い卒業生にとって魅力ある会  
 合にすることが大きな課題であり、これほどこの支部でも悩みは  
 一緒ではないかと思ひます。

組織役員	栗山秀太良 S36 卒 新妻 敬 S36 卒 小川 俊雄 S38 卒 吉岡 良夫 S36 卒 設楽 正行 S38 卒 藤倉 良夫 S39 卒作 田 義美 S40 卒 長谷川一治 S41 卒 加瀬間俊勝 S42 卒 石渡 孝春 S42 卒 小倉 國雄 S46 卒 黒川 裕保 S47 卒 女性幹事 石神美智子 S36 卒 小川きよ S36 卒 雨宮 匡世 S36 卒 監事 黒川 静夫 S31 卒 印宮 昭夫 S36 卒
事務局 連絡先	幹事長 石川 邦紘 S36 卒 Tel0476 (22) 4754 (president@ishikawa-jidousha.co.jp)

【ニュース】平成 17 年 1 月 2 0 日に成田鹿山会設立総会を開催しました。昭和 60 年卒業までの卒業生に総会案内及び成田鹿山会に入会の是非を募集したところ、約 1200 名に案内を出し、総会出席者 120 名、成田鹿山会入会者 406 名でした。今年も秋に総会を行いたいと思います。

組織名	八千代鹿山会
組織役員	会 長 江口 一雄 S31 卒 副会長 宮崎 弘 S39 卒 副会長 篠崎 妙子 S39 卒
事務局 連絡先	佐藤 耕一 S42 卒 Tel&Fax047 (482) 8010

【ニュース】「八千代鹿山会」は 2006.4.22 (土) 発足いたしました。同窓の方々と情報交換をし、協力し助け合って、共に生きる喜びを見つけるために、親睦を深める事を目的としております。発足後間もないことから、今後会員の方々のご意見、ご希望等をうかがい、より心地よい会へと発展させたいと願っております。発足に際しては、事務局の佐藤耕一氏が 500 件近くの鹿山会会員を自転車で廻って、案内状を配達してくださいました。(勤務時間の合間に・・・準備の裏方の一コマですが・・・)

組織名	県庁さくら会
組織役員	会 長 穴倉 昌男 S40 卒 副会長 山口 用一 S41 卒 副会長 内藤 庄平 S41 卒 副会長 石渡 和子 S39 卒 副会長 林 洋子 S40 卒
事務局 連絡先	秋山 賢明 S44 卒 Tel043 (223) 3909

【ニュース】「県庁さくら会」は、県の機関に勤めている職員で構成され、毎年 1 回総会と称して懇親会を開催し、会員相互をはじめ、先輩諸氏を含めて親睦を図ることとしています。今年も、9 月 5 日 (火) の開催を目指して準備を進め、特に若い職員が参加しやすい雰囲気づくりをしていきたいと思っています。「県庁さくら会」も年々平均年齢が高くなるばかりで、高齢化の波をまともに受けている昨今です。

第 7 回平成 14 年以降から隔年に関くことにして、各学年の代表者にそれぞれ参加者をまとめる方法によって改善された。総会は 8 回開かれ平均参加者 65 名 第 5 回 (H12.7.11 開催) 43 名、第 6 回 (H13.8.13 開催) 58 名、第 7 回 (H14.8.4 開催) 69 名、第 8 回 (H16.8.7 開催) 89 名

【今後の問題点】次回の総会は、今年開かれることになっている。現在会員から年会費は徴収していない。本部では、年会費を検討されている現状、当会が発足 10 年を迎えるが、今後、総会に若年層の参加者増員方法や会則に沿った事業に協力することを会全体で、検討してゆかなければならない。  
八街鹿山会会長...初代 伊藤 久也・二代目 竹内 繁

組織名	酒々井町鹿山会
組織役員	会 長 大野 一二 S28 卒 副会長 宇佐美 猛 S28 卒 副会長 筋 輝男 S29 卒 監 査 木村 亨 S33 卒 監 査 福田 光雄 S31 卒 幹事長 篠原 三郎 S30 卒 副幹事長 押尾 完 S37 卒 幹事 内海 五郎 S30 卒 藤崎 広 S32 卒 綿貫 敏雄 S33 卒 川崎 繁 S38 卒 岩澤 正 S42 卒 田熊あい子 S41 卒 吉永えつよ S43 卒 鈴木 晶子 S61 卒 会 計 皆川 恵美子 S39 卒 会 計 斉藤 恵美子 S41 卒
事務局 連絡先	幹事長 篠原 三郎 S30 卒 Tel043 (496) 0288

【ニュース】毎年 3 月最終日曜日に総会・懇親会を開催  
八街鹿山会有志のご尽力で酒々井町鹿山会は誕生した。人口 2 万人の酒々井町に、同窓が 600 名弱お住まいになっている。ぜひ組織を立ち上げようとして篠原幹事長を中心に若い人が働いてくれた。どの会員も協力を惜しまない。「同窓」というだけで、人々は和み、同じ町に住む安らぎを感じる。佐倉高の力である。個々の学業が問題ではない。あの鍋山の風景が、校舎が、恩師が、友人達が・・・力となっている。人々に与えてくれた誇りある佐倉高の力は、終生の連帯となる。そして、忘れてはならぬのは、われわれを進学させてくれた父母兄弟の恩である。改めて孝を我が身に問うている。酒々井町鹿山会は、母校に報いるためにも、ますます人々が和し、流石鹿山会といわれるような、活動を目指したいと思う。

組織名	成田鹿山会
組織役員	会 長 木皿木 元 S30 卒 副会長 細矢 正雄 S25 卒 副会長 大塚 勝彦 S27 卒 副会長 山口 荘介 S29 卒 副会長 越川 和哉 S30 卒 副会長 出山 嘉一 S31 卒 幹事長 石川 邦紘 S36 卒 幹事 大木 和 S33 卒 渡辺 宣彦 S36 卒

【ニュース】「千葉市役所さくら会」は、佐倉東高卒業生を加え総勢 66 名の会員を擁し、毎年 1 月に新年会、7 月には総会を開催しております。千葉市は「花の都・ちば」を年イメージとして定着するよう各施策を展開すると共に、プロスポーツの振興に力を入れております。「千葉ロッテマリーンズ」は、昨年の 6 冠達成に続き、今年もセバ交流戦で優勝するなど、元気な千葉市を全国に発信しています。

また、Jリーグの「ジェフ千葉」も新スタジアム「フクアリ」をホームグラウンドとして、昨年のナビスコカップ優勝に続き、今年も躍進が期待されます。千葉市役所さくら会の会員は、「県都・千葉市」の発展のため、一丸となつてがんばっております。写真は、2005 年に千葉ロッテマリーンズが日本シリーズ優勝など 6 冠に輝いたことを記念する「6 冠達成記念碑」です。



き、今年も躍進が期待されます。千葉市役所さくら会の会員は、「県都・千葉市」の発展のため、一丸となつてがんばっております。写真は、2005 年に千葉ロッテマリーンズが日本シリーズ優勝など 6 冠に輝いたことを記念する「6 冠達成記念碑」です。

組織名	佐倉高校昭和 38 年卒同窓会
組織役員	代表幹事 川崎 繁 幹事 粟生雄四郎 池田陽一 岩井義夫 大森哲 櫻井正夫 沢谷秀雄 市東敏男 設楽正行 鈴木将人 馬場純 平山忠信 松平武史 三谷博道 山田滋夫 吉井大亮 山本熙 立原雅子 立石昌子 須田容子 立石澄江 出井京子
事務局 連絡先	高山 勝男 Tel043 (485) 4318 櫻井 秀幸 Tel043 (485) 6001

【ニュース】昭和 38 年卒業生の同窓会は、4 5 才からオリンピックの年に同窓総会を開催して、毎回 100 名を超える出席者を集め、恩師共々懐かしく賑やかに懇談をしています。今回は 6 回目（2008 年開催予定）となります。同窓総会を成功させるため、各クラスから幹事を選出し、毎年数回幹事会を行い、特に昨年は伊豆及び蓮沼で宿泊幹事会を実施し、クラスメートの情報交換を行いました。さらに還暦からは、年 2 回のゴルフコンペを開催し、毎回 20 名強の参加者を得て、旧交を熱く深く温めています。



平成元年の総会参加者の全体写真

組織名	N A A 鹿山会 (成田国際空港株式会社)
組織役員	会長 村山 秀明 S42 副会長 蜂谷 與 S43 湯浅 美恵子 S43 次長 菊間 英行 S48 局員 三須 照久 S52 江邨 孝夫 S58 顧問 市東 敏夫 S38
事務局 連絡先	事務局 五代 英彦 S45 Tel043 (484) 2151 e-mail : <a href="mailto:h-godai@naa.jp">h-godai@naa.jp</a>



【ニュース】NAA 鹿山会は、平成 11 年 1 2 月に発足し、年 1 回の懇親会を兼ねた総会を開催し、現在は 4 5 名の会員がおります。また、平成 17 年 2 月には母校の見学会を実施し、記念館、地域交流施設、クラブ活動中のグラウンドなどを見学し、先輩や後輩とお酒を飲みながらの思い出話に楽しいひとときを過ごしました。今後は、他の鹿山会との交流も図って行きたいと考えております。

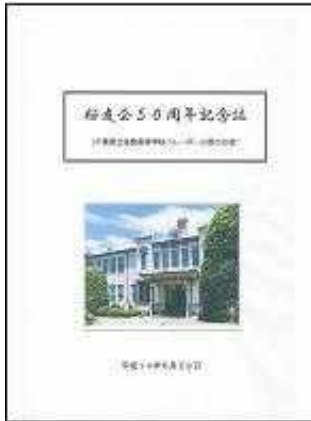
組織名	酒々井町役場鹿山会
組織役員	顧問 木村 亨 S38 卒 岩澤 正 S42 卒 顧問 小坂 泰久 S42 卒 会長 水藤 正平 S45 卒 幹事 綿貴 清 S49 卒 大塚 正徳 S53 卒
事務局 連絡先	水藤 正平 S45 卒 Tel043 (496) 1171 建設課内

【ニュース】酒々井町役場鹿山会は平成 10 年に発足し、職員及び顧問（町長・町議員）あわせて会員 21 名の組織となっています。新年会や暑気払いとして、年 2 回の懇親会を中心に職員の融和を図りながら、活動しています。また、当会員は酒々井町鹿山会の会員としても参加しております。最近の新聞紙上に、長島監督や小出監督のこれまでの活躍が掲載されておりました。母校関係者の活躍を見るにつけ、うれしく思います。母校の益々の発展を祈っております。

組織名	千葉市役所さくら会
組織役員	会長 萩原三千雄 S41 卒 副会長 林 義之 S42 卒 幹事長 白井 高秀 S43 卒 幹事 海宝 誠 S47 卒 出山 利明 S54 卒 幹事 叶 優 H9 卒 監査 永名淳悟 S51 卒
事務局 連絡先	幹事長 白井 高秀 S43 卒 Tel043 (245) 5757 (勤務先)

組織名	佐倉高卓球部OB会
組織役員	会長 小野 静夫 S28 卒 副会長 熟年部会長 志津 二郎 S3 副会長 青年部会長 小川 健 S49 卒 副会長 女性部会長 円道寺 悦子 S48 卒 副会長 平成部会長 並木 勝宏 H2 卒 副会長 会計責任者 広田 稔 S49 卒 理事 熟年部副会長 田中 茂 S42 卒 理事 青年部副会長 藤川卯之助 S51 卒 理事 女性部副会長 黒川 悦子 S49 卒 理事 平成部副会長 空席 理事 会計責任者 斉藤 静夫 S42 卒
事務局 連絡先	事務局 広田 稔 S49 Tel043 (485) 1575
<p>【ニュース】昭和 29 年 OB の有志により佐倉クラブを創り、県内の試合に出場して楽しんでおりましたが、昭和 31 年に卓球を志した卒業生の交流の場とすべく「佐倉高卓球部 OB 会」と改称して現在に至っております。現在会員数は、338 名で、毎年 11 月 23 日の勤労感謝の日に佐倉高卓球練習場を会場として、現役選手と OB 会会員との交流を目指した「OB 祭」を開催し、総会並びに親睦卓球大会等を通じて後輩への支援、卒業生同士の親睦を深めてまいりました。</p> <p>平成 13 年には佐倉市のホテルリッチタイムに於いて卓球部 OB 会 50 周年記念式典を開き、母校の藩校 200 年記念に際しては 30 万円、県立 100 年記念では 10 万円の寄付をしてまいりました。今後は、恩師の宮川栄一先生、鈴木鐵洋先生を初めとする顧問の先生方ともより親しくお付き合いさせていただき、佐倉高に在籍したこと、卓球部に在籍した事をいつまでも誇りにできるような活動をして行きたいと思いをします。</p>	

組織名	佐倉高剣道部校友会
組織役員	会長 大久保 雅従 S44 卒 副会長 川島 徹二 S48 卒 幹事 大塚 正徳 S53 卒
事務局 連絡先	岩方 寛 Tel0476 (95) 2443 (会長宅)
<p>【ニュース】</p> <p>平成 18 年度総会のご案内</p> <p>1.日 時 平成 18 年 8 月 6 日 (日)</p> <p>14:00~ 総 会 15:00~16:00 稽 古 17:30~19:30 懇 親 会</p> <p>2.場 所 総会、稽古=佐倉高校 剣道場 懇親会 =「藍 屋」</p> <p>3.その他 懇親会のみ参加も大歓迎ですので、ふるってご参加ください。</p>	

組織名	男子バレーボールOB会 (桜友会)
組織役員	会長 三谷 博道 S38 卒 副会長 塚本 進 S48 卒 副会長 寒郡 茂樹 S56 卒 理事 久留戸文内 S32 卒 勝山 武人 S32 卒 石橋 良一 S34 卒 櫻井 秀幸 S38 卒 岩井 呈寿 S42 卒 加藤 哲也 S48 卒 小澤美佐恵 S49 卒 岡田 雅裕 S50 卒 日暮 和也 S50 卒 藤代 雅恵 S52 卒 牧野 淳 S55 卒 斉藤 正聡 S57 卒 監事 海老原衡治 S37 卒 大橋 淑宏 S37 卒
事務局長 連絡先	三ツ木 俊則 S48 卒 Tel0476 (93) 7038
<p>【ニュース】戦後間もない昭和 22 年に、県下の高校生に先駆けバレーボール部が創設され、創部メンバーが卒業と同時に OB 会 (名称「桜友会」) を発足させました。初代会長は高橋雄一郎氏 (S24 年卒)、二代目会長は譜久里厚雄氏 (S31 年卒) 現在は三谷博道氏 (S38 年卒) が三代目の会長を務めております。</p> <p>平成 14 年には「OB 会 50 周年記念誌」を発行し、併せて記念総会を開催して親睦を深めております。なお、総会は毎年開催しております。またこの年の秋には、荒川重雄氏 (S26 年卒) の叙勲祝賀会も重なりおめでた続きの年でした。最近では、若手 OB が積極的に生徒の練習相手となっており、技術向上に寄与しております。</p> <p>母校の躍進を期待して、毎年ユニホームや用具等を寄贈し、熱心に支援を続けております。OB 各位には今後も変わらぬご協力をお願い申し上げます。</p>	
	

組織名	佐倉高校バスケットボールOB会
組織役員	役員は、決めておりません。
事務局 連絡先	石井 廣道 S44 卒 Tel043 (484) 1518
<p>【ニュース】</p> <p>・担当者の判断で、OB 会員の皆さんに声をかけ、現役選手の援助等を行っております。</p>	

組織名	佐倉高等学校野球部 OB 会
役員	<p>名誉顧問 津田 孝 S14 卒</p> <p>顧問 佐倉市長 佐倉高校長 佐倉高野球部長 藤崎 孝雄 (S23 卒) 長島 茂雄 (S29 卒)</p> <p>会長 加藤 哲夫 (S25 卒)</p> <p>副会長 鈴木 佐 (S25 卒) 齊藤 敏男 (S35 卒) 中村 康男 (S42 卒)</p> <p>常任理事 川辺一幸 (S19 卒) 三橋弥太郎 (S25 卒) 林国男 (S25 卒) 鶴岡洋 (S26 卒) 筋輝男 (S29 卒) 寺田哲夫 (S30 卒) 鈴木満寿男 (S35 卒) 齊藤博 (S40 卒) 阿部明 (S45 卒) 岩沢優 (S47 卒) 加茂久男 (S51 卒) 石井光人 (S53 卒)</p> <p>理事 大場正男(S17 卒) 鈴木淑夫(S23 卒) 栗原照俊(S26 卒) 赤尾一成(S27 卒) 牛島靖次(S29 卒) 鈴木英美(S30 卒) 板倉幸男(S30 卒) 吉野昇(S31 卒) 羽根井秀夫(S31 卒) 関隆一(S32 卒) 栗原圭祐(S32 卒) 関沢誘(S34 卒) 平川剛也(S35 卒) 岩井亮蔵(S37 卒) 羽根井衛(S42 卒) 井原慶一(S44 卒) 高橋弘正(S50 卒) 円城寺一雄(S52 卒) 奥村武広(S56 卒) 勝又宏(S59 卒) 河島健(H6 卒) 狩野正浩(H7 卒) 阿部昌也(H9 卒)</p> <p>学年理事 各学年の主将</p> <p>監事 横山金治郎(S27 卒) 森清孝(S37 卒)</p>
事務局	<p>事務局長 加賀谷 均 (S51 卒) 043-234-3875 090-3471-6339</p> <p>事務局 青木 和義 (S51 卒)</p>

【ニュース】我が佐倉高校硬式野球部は本年で、創部 110 周年を迎えた。1896 年創部の県下最古（日本国でも有数）の伝統を誇る野球部であります。OB には日本の野球の繁栄の功労者（野球界初の平成 17 年度文化功労者を受賞）として有名な読売巨人軍終身名誉監督の長嶋茂雄氏も名簿に名前を連ねています。現在 OB 会員は、昭和 7 年卒業から平成 18 年卒業までの 579 名で（逝去者を除く）組織され、毎年 5 月に総会を開催し、現役選手の援助や応援、県下他校との OB 野球、OB ゴルフなどの対抗戦を中心とした親睦会など活発に運営されております。平成 18 年度の事業方針では、例年の用具、道具類の援助に加え、創部 110 年の記念事業として、現役生徒に対し、不足する施設等を援助するため「創部 110 年記念施設増強募金」を実施しましたところ、多くの会員の協力をいただき 260 万円もの金額が集まりました。内野照明施設の

要望もありますが、検討の結果、今回はバッティングゲージと防御ネット 3 点を贈呈することといたしました。引き続き悲願達成に向け OB 会として支援してまいりますので、鹿山会会員皆様のご支援ご協力をお願いいたします。



県 OB 連合会野球大会で 23 年ぶりの準優勝



激戦を制し表彰式に臨む